

VOL.21

# ノーベル賞について調べよう！

2014.1作成

## ○ノーベル賞とは…？

スウェーデンの化学者ノーベルの遺言でもうけられた、世界的に権威のある賞。ノーベルのばく大な遺産をもとに運営されているノーベル財団が、国籍、人種、宗教を問わず、毎年「人類に対し最大の貢献をした人」にメダル、賞状、賞金を授与している。1901 年以來、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和の 5 部門があったが、1969 年からはスウェーデン国立銀行の基金による経済学賞も制定された。

(ポプラ社『総合百科事典ポプラディア にぬねのはひ』より)

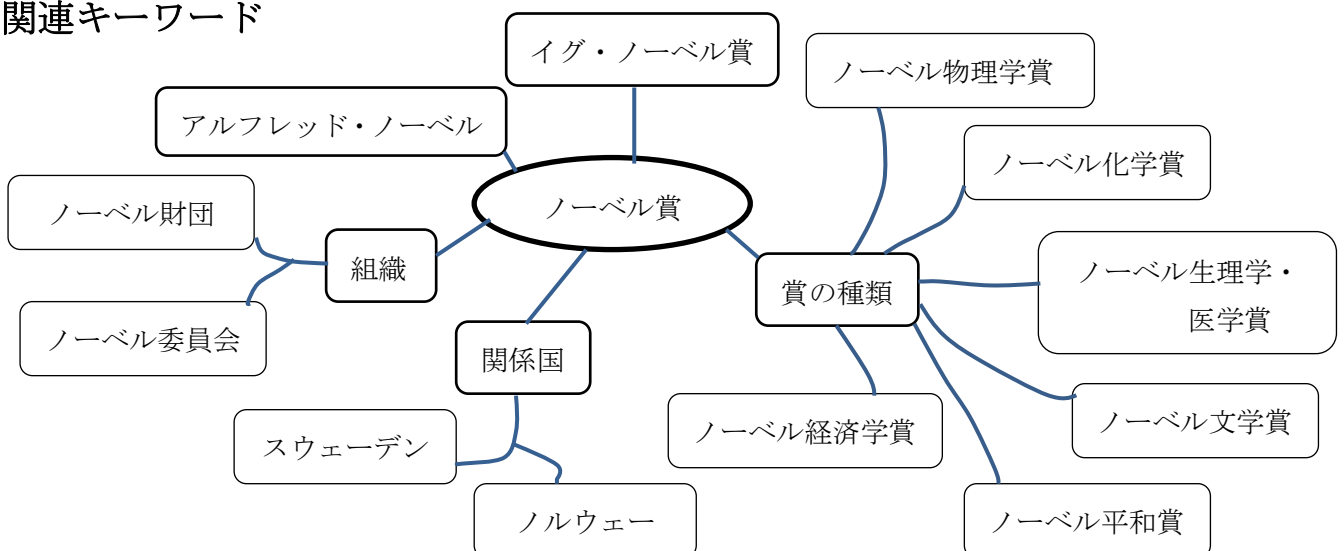
## ○概要を調べる \* 網掛けは児童コーナーの資料

・25『ノーベル賞がわかる事典』 土肥義治/PHP 研究所 [2009]

→豊富なイラストや写真とともに、ノーベル賞について解説している事典。特に、受賞者の業績についての記事が充実していて、わかりやすい。

## ○詳しく調べる

### ▶関連キーワード



### ▶日本十進分類法（一般書）で探す

【 377.7 学術研究<sup>しょうがい</sup>奨励 】

### ▶児童・YAコーナーで探す

【 25 社会科 】 【 Y200 総記 】 【 28 伝記 】

## ▶例えばこんな資料 \* 網掛けは児童コーナーの資料

### ノーベル賞について調べる

- 25『ノーベル賞の大常識』 戎崎俊一／ポプラ社 [2004]  
→やや古いが、ノーベル賞についてわかりやすくコンパクトにまとめられた一冊。読み物風になっているため情報量は多めだが、図やイラスト付きなので読みやすい。巻末の索引やブックリストも参考になる。
- 377.7『知っていそうで知らないノーベル賞の話』 北尾利夫／平凡社 [2011]  
→アルフレッド・ノーベルの生涯や、受賞者の選び方、ノーベル賞をめぐる起こった様々な事  
件やお金の話など、意外と知られていないエピソードを多数収録。新書なので読みやすく、気  
軽に手にとることができる。
- 377.7『ノーベル賞おもしろ雑学事典』 ノーベル賞研究会／ヤマハミュージックメディア [2002]  
→ノーベル賞にまつわる驚きの逸話やデータを多数収録している。たくさんエピソードを集め  
て載せているので、おもしろそうな話だけを拾い読みしてもいい。上で紹介した本などでノー  
ベル賞についての基本的な知識を仕入れてから読めば、よりいっそう楽しめそう。

### 受賞者について調べる

- 28『くらしにつながるノーベル賞』 若林文高／文研出版 [2013]  
→ノーベル賞を受賞した研究者たちの発明や発見、彼らの生涯についてだけでなく、それらが現  
代社会でどのように役立っているのかということまで解説している。子ども向けの本だが、内  
容はけっこう高度。
- 377.7『別冊宝島 ノーベル賞と日本人』 宝島社 [2013]  
→これまでの歴代日本人受賞者を写真付きや年表を用いながらで紹介している。2008年に物理学  
賞を受賞した小林誠博士のインタビューや、将来ノーベル賞を受賞しそうな日本人の特集記事  
が面白い。
- 377.7『日本の歴代ノーベル賞』 高橋繁行／アスキー・メディアワークス [2009]  
→1949年から2008年までにノーベル賞を受賞した13人の科学者たちにスポットをあてた新書。  
各章の最後に図やイラストによるまとめの説明が載っているので、彼らの人物像についてはも  
ちろん、その業績についても知ることができる。巻末に参考文献の一覧がついているのも親切。

## ○プラス・ワン!

### みんなも読めるノーベル賞

- YLカ『伊豆の踊子』 川端康成／集英社 [1977]
- Jキ『ジャングル・ブック I/I I』 ラドヤード=キップリング／偕成社 [1990]
- Jキ『青い鳥』 モーリス・メーテルリンク／講談社 [2013]
- Jラ『ニルスが出会った物語 1 まぼろしの町』 セルマ・ラーゲルレーブ／福音館書店 [2012]  
→中高生または子ども向けに出版されているノーベル文学賞受賞者の作品です。

### イグ・ノーベル賞について調べる

- 049『笑う科学 イグ・ノーベル賞』 志村幸雄／PHP研究所 [2009]  
→「まず人を笑わせ、そして考えさせる」研究に対して送られるイグ・ノーベル賞。実は日本は、  
これまで多くの受賞者を輩出してきた「受賞大国」だったのです。